

## 四国の全薬学部の施設・機器の共同利用に関する協定書

### (趣旨)

第1条 平成24年9月21日締結の大学間連携共同教育推進事業「四国の全薬学部の連携・共同による薬学教育改革」の共同実施に関する協定書第1条に定める目的を達成するため、徳島文理大学薬学部及び香川薬学部、徳島大学薬学部並びに松山大学薬学部(以下「構成大学」という。)の間において、施設・機器の共同利用に関して、協定書を作成する。

### (共同利用体制の構築)

第2条 構成大学は、施設・機器の共同利用ができるよう受入体制を整えるものとする。

### (施設・機器利用上の規程等の遵守)

第3条 施設・機器の利用にあたっては、各大学が定める施設・機器の利用上の規程等に従うものとする。

### (期間)

第4条 本協定書は、締結日から効力を生じ、平成29年3月31日まで有効とする。ただし、構成大学から特段の申し出がない限り同一の条件で1年間延長されるものとし、その後も同様とする。

### (その他)

第5条 本協定書に定めがない事項又は本協定書の条項について疑義が生じた場合は、構成大学が協議し、決定する。

この協定書を証するため、本書4通を作成し、構成大学が各1通を保有する。

平成28年1月6日

徳島文理大学薬学部長

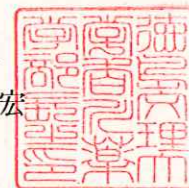
福山 愛保



徳島文理大学香川薬学部長

宮澤

宏



徳島大学薬学部長

大高

章



松山大学薬学部長

古川 美子

